

一般社団法人 宮崎青年会議所 2023年度 組織グループ財政規則審査会議基本方針

財政規則審査会議 議長 高山 祥平

<p>現 状 と 課 題</p>	<p>宮崎青年会議所の課題である在籍年数の縮小により、2023年度期首会員の50%以上が在籍3年以下と経験が浅いメンバーが多く、2023年の理事役員も例外ではありません。その中で事前準備を推し進め厳正なる財政審査及びコンプライアンスの厳守をすることで、各諸会議の運営がスムーズに進行することが必要です。</p>
<p>目 的</p>	<p>財政審査においての議案の体裁及び予算書の審査をおこない、諸会議において有意義な議会運営を行える事前準備をします。また、メンバーがJCI日本の基準と同等レベルのコンプライアンス基準を理解できるようLOM内に浸透させることを目的とします。</p>
<p>内 容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 財政規則審査会議の実施 2. 災害対策会議（災害協定対応） 3. 国内アワード申請 4. LOM褒賞事業「AWARD MIYAZAKI 2023」の構築 5. 11月例会メインアワー「家族晩餐会」の構築 6. 福岡ソフトバンクホークス交流事業の実施
<p>KPI</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 議案上程時の不備0件 2. 各委員長が決算までの流れを理解し、事業報告・決算時の不備0件 3. 災害発生時、宮崎市及び社会福祉法人宮崎市社会福祉協議会からの協力依頼に必ず応える。 4. 国内のアワード1件申請を行う 5. AWARD MIYAZAKI 2023の実施により青年会議所への事業運動の質の向上及び成長意欲の向上が80%達成 6. 家族晩餐会時に家族向けアンケートで青年会議所のことを理解できた、少し理解できたの回答が80%達成 7. 実地開催時、福岡ソフトバンクホークス交流事業へアカデミーメンバーの参加及び支援を50%の28名以上とする。
<p>NEXT5</p>	<p>1誰も取り残されない地域の実現</p> <p>1-6 ニューノーマルへの適応</p> <p>1-7 ジェンダー平等の実現</p> <p>1-8 J Cブランドの確立と認知度向上</p> <p>2労働生産性を向上させる地域の実現</p> <p>2-7 会議の効率化</p> <p>2-8 企業・学校・団体との連携</p> <p>3持続可能で安全な地域の実現</p> <p>3-7 防災ネットワークの強化</p>
<p>パ ー ト ナ ー</p>	<p>公益社団法人日本青年会議所</p> <p>公益社団法人日本青年会議所九州地区協議会</p> <p>公益社団法人日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会</p> <p>宮崎JCシニアクラブ</p> <p>宮崎市</p> <p>福岡ソフトバンクホークス</p> <p>宮崎市内教育施設</p> <p>社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会</p>